鹿児島県経済連グループ5社 タイで売り込み

KAGOSHIMA産

黒牛、黒豚、黒酢、茶、米… 知名度、評価 手応え

鹿児島県産農畜産物や加工品をタイ関係者（左側）と商談（タイ・バンコクで＝JA鹿児島県経済連提供）

【かごしま】JA鹿児島県経済連グループ5社は8日、タイのバンコクで「鹿児島県産農畜産物等輸出商談会inバンコク」に出展し、県産農畜産物と加工品をアピールした。タイでの商談会は初めて。県輸出食品振興連絡協議会とタイの輸入業者、ロクスレイ社の共催。現地のレストラン関係者ら約30人と県内から15社20人が参加した。

商談会では、JA食肉かごしまが昨年9月の全国和牛能力共進会（宮城全共）で「鹿児島黒牛」が総合優勝したことを紹介。鹿児島黒牛のロースなどを提供しているレストランから「ポスターを店内に掲示したい」と要望があった。

鹿児島協同食品は、「黒豚ギョウザ」など食肉加工品、鹿児島くみあい食品は黒酢やキンカン、JAかごしま茶業は抹茶や緑茶ティーバッグ、鹿児島パールライスは具材と米がセットになったおこわ米などが評判を集めた。

会場では、経済連の鬼丸幸司専務が、鹿児島の和牛を年間480キロ以上扱っているレストランに「KAGOSHIMA WAGYU」の販売指定店証を授与した。

商談会に臨んだ経済連営業開発課の谷元孝さんは「鹿児島黒牛はすでに一定の評価を得ているが、さらに知名度を高める必要がある。今後、品目の幅を広げ、オール鹿児島でタイへの輸出を拡大していきたい」と話す。

吉岡さん（活動体験発表 JA熊本市）最優秀

熊本県女性大会 自己改革後押し 宣言

【熊本】JA熊本県女性組織協議会は7日、宇城市で2017年度JA熊本県女性大会を開いた。県内JA女性部員やフレッシュミズ、青壮年部員、JA役職員ら約700人が参加した。

組織活動体験発表では、「風を起こすおばちゃんパワー『組織活動は、部員数じゃない』」と題し発表したJA熊本市女性部の吉岡美智代さんが、フレッシュミズの作文コンクールでは「出会いも活動も、感謝とともに」を発表したJA阿蘇フレッシュミズの工藤寿恵さんが、最優秀賞に輝いた。吉岡さんは、7月に宮崎県で開かれる九州地区大会に県代表として出場する。工藤さんの発表内容は全国のフレッシュミズ作文コンクールに応募する。

大会では女性組織メンバーもJAグループの一員として全力でJAの自己改革を後押しし、「学習」「対話」「発信」を軸に役職員との対話を進め、よりよい地域社会づくりにつなげることや、農業の大切さやJAの良さを発信することを大会宣言として採択した。

公演では、長崎県の「よってみゅう会」が「三婆ちゃんのこぼれ話」「知覧の母」を上演し、方言を使った寸劇で会場を沸かせた。

青壮年組織活動実績発表で最優秀賞を受賞したJA鹿本青年部植木支部の上田克哉さんの発表やフレッシュミズによる介護予防運動、女性部による2分間スピーチ、JAくま女性部による農の生け花の展示もあった。

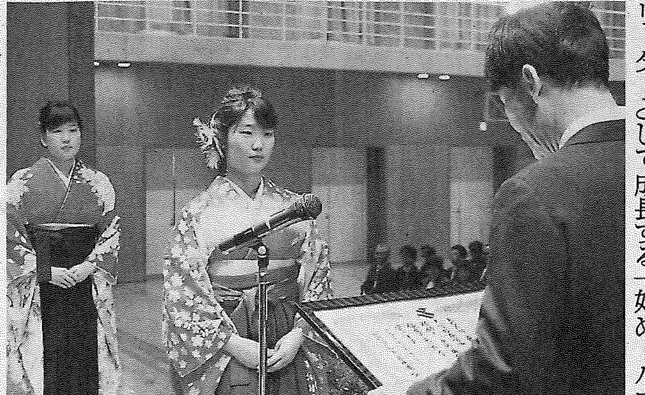
91人巣立つ

鹿児島県立農大校卒業式

【かごしま】鹿児島県立農業大学校は13日、日置市の同校で第39回卒業式を開いた。養成部門87人、研究部門4人の91人が卒業証書を受け取り、保護者や関係者から祝福を受けた。卒業生のうち74％に当たる67人が就農、16人が農業関連に就職する。

式では、三反園訓知事が「志を高く、一歩先を行く経営感覚を持ち、本県農業・農村を支える担い手として活躍してほしい」と激励。谷口修一校長が「自らの夢の実現へ着実に歩み、本県農業のリーダーとして成長する

ことを期
を述べた。
卒業生代
里さんは
生かし、
る人材に
べた。鹿児
る枇榔直
「露地野菜
始め、ハ



鳥インフル「シロ」

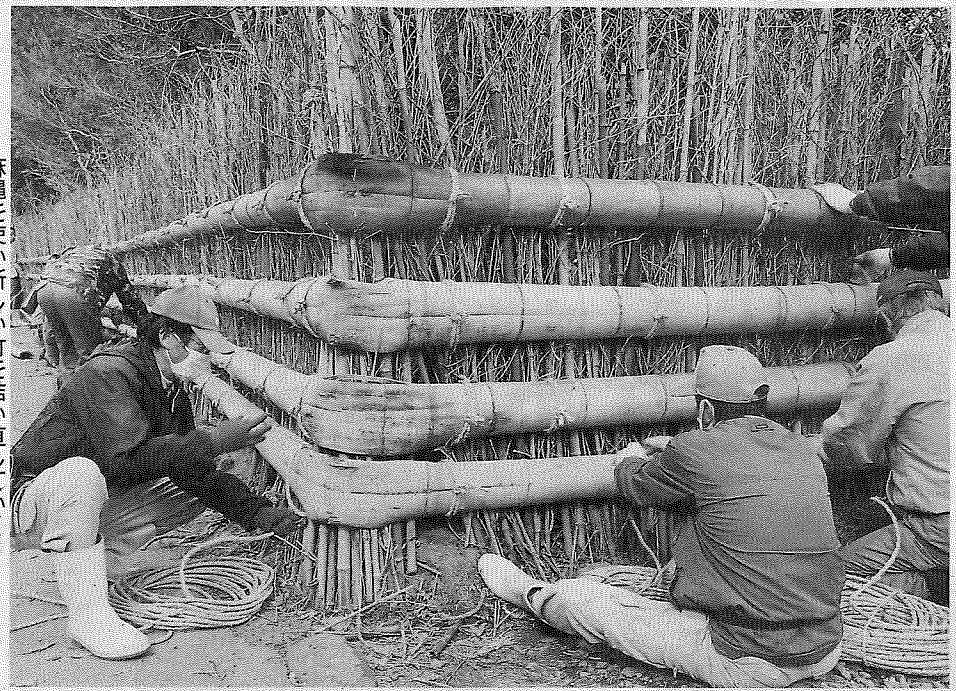
天草市

【くまもと】環境省は12日、天草市で回収されたハシブトガラスのA型鳥インフルエンザウイルスの確定検査で、ウイルスは検出されなかったと

発表した。
た周辺10キ
視重点区域
2月21日
シブトガ
収。一羽が
陽性と判明
で確定検査

300年の歴史を刻む

うきは市楠森河北家住宅で「壁結い」 技と景観を継承



麻縄を使い新しい竹を結い直していく

福岡県うきは市の楠森河北家住宅で3月上旬、300年以上続く「壁結い」があった。住宅を囲む竹垣の古くなった部分を取り換える作業で、35代800年続く同家の伝統行事。竹壁は北部九州で残るのは河北家だけとされる。

地元の農家や住民、造園を学ぶ若者ら30人が駆け付け、竹と荒縄だけを使い150メートルにわたる高さ1・8メートルの竹壁の結い直しに精を出した。

竹は近くの山から切り出した350本ほどを使用。壁結いに備え、立てかける真竹を同じ長さに切り刻み、真竹を4段に取り巻くモウソウチクは半分に割り、あぶって曲げておく。

大学で建築を学び、以前河北家住宅を調査した関係で参加した学生は「やってみると難しく大変な作業」と苦労を実感していた。

同家は当主の河北宣正さん（74）と息子の幸高さん（43）が米、柿と在来種の茶を栽培する傍ら、同家に残る祭事などの継承と同家を会場にイベントなどを通じて地域発信に努める。

高齢化が進み、作業の手が集まるか心配された中、幸高さんは「たくさんの協力をいただき、ありがたい。歴史を伝える技と景観を絶やさないという思いを一人でも多くの人と共有し伝えていきたい」と話す。

（福岡・にじ）

販売15周年で あまおう祭り

JAふくおか八女

【ふくおか八女】福岡県産イチゴ「博多あまおう」の販売15周年を記念して、JAふくおか八女は2月下旬、JAの農産物直売所で「あまおう祭り」を開いた。「いちご周年ありがとう」と銘打ち、会場に「15」の文字をかたどった箱のオブジェを設置。「博多あまおう」1箱（2パック入り）1000円を150箱販売し、完売した。

併せて開いたガラポン大抽選会では、1等の景品に「博多あまおうDX」を1箱用意した。

博多あまおう 15周年
博多あまおう
¥500 ¥1,000

インパクトのある箱のオブジェが会場を飾った「あまおう祭り」

JA管内は、福岡県内の「博多あまおう」生産量の3分の1を占める県内最大の産地。2月には米国・ニューヨークで「あまおう」フェアがあり、米国東海岸への進出を果たすなど海外市場からの評価も高い。

九州

KYUSYU

情報連絡は支所またはJA中央会へ

九州支所

福岡市中央区天神4−6−7
天神クリスタルビル6階
☎092（761）6355
ファクス 092（781）3818

JA福岡中央会 ☎092（711）3911
JA佐賀中央会 ☎0952（25）5112
JA長崎県中央会 ☎095（820）2010
JA熊本中央会 ☎096（328）1059
JA大分中央会 ☎097（538）6370
JA宮崎中央会 ☎0985（31）2038
JA鹿児島県中央会 ☎099（258）5116
JAおきなわ ☎098（831）5555

今日の天気

▨ のち　降水確率（%）：午前／午後／夜半
□ 時々　予想気温　左：最高　右：最低

福岡　佐賀　大分　鹿児島

川南・
イチゴ
宮崎・

【宮崎
鈴管内の
設などにく
ため、J
は3月上旬
両町長に
た。
同部会の